

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 1 項 商業費  
 4 目 貿易振興費

経済通商総室（内線：7659）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
対岸ビジネス体制支援事業	24,000	54,625	△30,625				24,000	
トータルコスト	35,295千円（前年度60,426千円）[正職員：1.4人]							
主な業務内容	補助金関連手続、企業側との事業内容調整等							
工程表の政策目標（指標）	境港の物流拠点化及び境港の取扱貨物量増加 （貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU）							

説 明

1 事業概要

境港に就航している定期航路を活用して新たなビジネスに取り組む企業等に対するサポートを通じ、新規輸出貨物の確保とスムーズな事業展開を支援し、境港の輸出入機能の強化を図るもの。

2 主な事業内容

＜対岸ビジネス体制支援事業（継続）＞ 24,000円

「鳥取県境港輸出入拠点化支援事業費補助金」として、境港を利用して対岸諸国との取引やビジネス展開を進める企業の取組、境港周辺地域への進出や設備設置等により、境港の輸出入機能強化に寄与する取組等への助成を行う。

対象者	鳥取県内に事業所又は工場を有する中小企業者等
対象事業	境港周辺地域の輸出入拠点化機能強化に資する設備整備もしくは将来的な設備導入を念頭におこなう調査、トライアル的な取組等
補助率	2 / 3
想定件数	ハード事業 1 件（上限 20,000 千円/件） ソフト事業 2 件（上限 2,000 千円/件）

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】 貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU

【現状】 貨物取扱量 H20実績：4,111千トン、コンテナ取扱量 H20実績：15,271TEU

・平成21年度事業においては、境港の航路を利用したロシア等への小ロット（小口貨物）輸出が可能な環境整備を念頭に、精密な温度管理が可能な小サイズのコンテナ整備開発に対して助成を実施。今後、安定的な輸出入貨物の創出に繋がることに期待。

【改善点】

・「鳥取県境港輸出入拠点化支援事業費補助金」の想定対象件数の減少により、事業費の縮小を図った。  
 （ハード事業：2件(H21)→1件(H22)、ソフト事業：3件(H21)→2件(H22)）